

室内管弦楽団

かまくらシンフォニエッタ

第13回定期演奏会

2013年5月25日(土)

午後1時30分会場 2時開演

鎌倉芸術館・小ホール

ハイドン 交響曲 第102番

モーツアルト ヴァイオリンとヴィオラのための

協奏交響曲 KV364

ビゼー 交響曲 ハ長調



指揮・ヴィオラ独奏 阿部真也

ヴァイオリン独奏 加藤美菜子

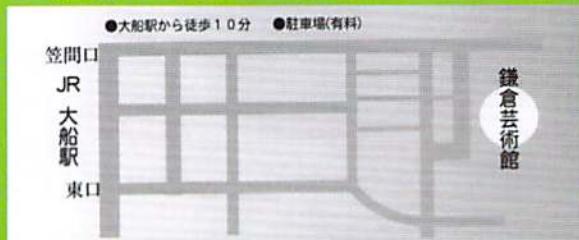
入場券 1,500円(全自由席) 当日券あります
チケット取扱い

鎌倉芸術館チケットセンター 0120-1192-40

島森書店鎌倉店 0467-22-0266

島森書店大船店 0467-46-3841

・大船駅より徒歩10分



主催 かまくらシンフォニエッタ

後援 鎌倉市教育委員会・鎌倉合奏連盟

お問い合わせ: 046-871-3187 小原
0467-45-9397 高橋

阿部真也（ヴィオラ、指揮）



幼少よりピアノを、13歳よりヴァイオリンを始める。その後渡米し、サンフランシスコ音楽院ヴァイオリン科、ヴィオラ科を修了。2005年より拠点をドレスデンに移しオーケストラ奏者・指揮者として研鑽を積む。2006年第1回コルドバ国際指揮者コンクール入賞。2007年よりエドワードサイード音楽院ベツレヘム校ヴァイオリン、ヴィオラ、室内楽科教授に就任し、同音楽院オーケストラ、パレスティナユースオーケストラの音楽監督も兼任。現在は同音楽院客員教授、客演指揮者として籍を置いている。また東京を中心に2007年より「阿部真也と仲間達室内楽シリーズ」を主催し、2010年にはアメリカ公演、同年サンフランシスコ響首席奏者達を招き、10回目となる記念コンサートを東京で開催。2012年4月渋谷区さくらホールに於いて20回記念演奏会を開催。2008年よりNew Chamber Soloists常任指揮者に就任。指揮者、小林研一郎氏に認められ、日本、ヨーロッパ公演に於いてヴィオラ奏者として参加。山田和樹氏率いる横浜シンフォニッタとヴィオラソリストとして共演した他、同団客演コンサートマスター、ヴィオラ首席奏者、国内外オーケストラに於いて客演首席ヴィオラ奏者、コンサートマスター等として活動。2011年にはサンフランシスコ交響楽団弦楽合奏団を指揮しデビューし、好評を得る。2011年5月「パレスチナ音楽日記」と題した本を出版。2010年から2年間ロームミュージックファンデーションより、在外研究生として助成を受けながらドレスデン、アメリカを中心に研鑽を積み、オーケストラ、室内楽、ソロ、客演指揮者として数多くの演奏会に出演。2012年にはCHANELピグマリオン室内楽シリーズのヴィオラ奏者に選ばれる。同年より「ジャスミン音の庭」室内楽講師、音の輪音楽教室などで後進の指導にも力を注いでいる。使用しているヴィオラは元日本フィル首席ヴィオラ奏者で現在原宿アコスタディオ代表・赤星昭生氏が使用していた名器「1700年ヤコブ・シュタイナー」をアトリエ de Mari 代表、伊藤怜子氏の協力のもと譲り受ける。

加藤美菜子（ヴァイオリン）



8歳よりヴァイオリンを始める。ヴァイオリンを山崎好江、三戸泰雄に、また室内楽を浦川宜也、堀了介、鷹栖光昭の各氏に師事。東京音楽大学卒業、2006年同大学院修了。2005年モーツアルテウム・サマーアカデミーにて、ライナー・シュミットに師事。2007年第八回日本アンサンブルコンクール、室内楽部門入選。現在オーケストラ、室内楽などを中心に活動している。